

民間企業における障がい者雇用促進に向けた支援策の検討について

民間企業が安心して障がい者雇用に取り組んでいけるよう、板橋区障がい者就労支援センターでは、交流会や企業見学会の実施を検討している。

令和8年度に向け、検討している内容は以下のとおり。

1 現状・課題

- (1) これまで定着支援を主としていたため、企業支援に取り組めていなかった。
- (2) 企業内で解消できるものもすべて就労支援センターに相談が来る。
- (3) 企業に対して障がい者雇用の理解促進を行う。
- (4) 企業間交流のパイプ役を担う。

2 取組内容（案）

- (1) 障がい者雇用における情報交換会・事例研究会
対象：特例子会社担当者向け
回数：年2回
内容①：大学の教授や障がい者雇用に知見のある方を講師とし、障がい者雇用について知見を深める。
内容②：グループワークを実施し企業間で現場で起きている悩みを相談し合う
※他区センターとの合同開催などを検討中
- (2) 企業見学会
対象：特例子会社 or もにす認定企業（利用者の在籍企業）
回数：年1回
内容：これから障がい者雇用を検討している企業の担当者と企業見学を行い、業務の切り出し、配慮についてイメージを持ってもらう。
併せて、意見交換の場を設け、質問等から障がい者雇用のイメージを持ってもらう。
※原則として、当センター単独開催（参加人数を考慮、小規模開催）